

## 川内沢ダム建設事業に係る追加説明資料

- ・再評価調書（抜粋）

平成 24 年 10 月 18 日（木）  
土木部河川課

# 再 評 価 調 書

		調書作成年月日		平成24年 9月 3日			
		事業担当課		河川課			
事業名	<small>かわうちさわ</small> 川内沢ダム建設事業	補助・単独の別	補助	事業主体	宮城県		
施行地名	<small>なとり めでしまかさしま</small> 名取市愛島笠島 地内	【位置図後掲】		管理主体	宮城県		
根拠法令	河川法第60条第2項						
事業概要	<b>事業目的</b>						
	名取市内を流下する一級河川名取川水系川内沢川に、同河川の治水事業の一環として治水ダムを建設し、沿川の洪水を防御するとともに、既得取水の安定化と河川環境の保全を図るものである。						
	<b>事業内容</b>						
	事業着手時 (平成9年度)	ダム形式：重力式コンクリート，ダム高：33m，堤体積：84,000m <sup>3</sup> 総貯水容量：1,700,000m <sup>3</sup> 治水確率規模：1/50*， <b>利水安全度：1/10*</b>					
	再評価時 (平成13年度)	同上					
	再々評価時 (平成18年度)	同上					
再々評価時 (平成23年度)	同上						
再々評価時 (平成24年度)	ダム形式：重力式コンクリート，ダム高：37m，堤体積：44,000m <sup>3</sup> 総貯水容量：1,700,000m <sup>3</sup> 治水確率規模：1/50*， <b>利水安全度：1/10*</b>						
の	*治水確率規模1/50：概ね50年に1度程度の確率で降る規模の雨（計画日雨量：309mm/日） *利水安全度1/10：概ね10年に1度程度の確率で発生する渇水 <b>【事業内容の変更状況とその要因】</b> ・ 現地調査の結果から、ダム建設に優れる地形及び地質が確認された箇所 <sup>1</sup> にダムサイトを計画し、最適なダム規模等に変更したもの。						
概要	<b>事業費</b>						
		全体事業費		費用負担内訳			
			内用地 及び補償費	国 [ 50%]	県 [ 50%]	市町村 [ - %]	その他 [ - %]
	事業着手時 (平成9年度)	88億円	17.9億円	44億円	44億円	－億円	－億円
	再評価時 (平成13年度)	88億円	17.9億円	44億円	44億円	－億円	－億円
	再々評価時 (平成18年度)	88億円	17.9億円	44億円	44億円	－億円	－億円
	再々評価時 (平成23年度)	88億円	17.9億円	44億円	44億円	－億円	－億円
再々評価時 (平成24年度)	80億円	33.2億円	40億円	40億円	－億円	－億円	
要	<b>【事業費の変更状況とその要因】</b> ・ 現地調査の結果から、ダム建設に優れる地形及び地質が確認された箇所 <sup>1</sup> にダムサイトを計画し、最適なダム規模等に変更したもの。						

## ④ 総合評価：川内沢ダム（組合せ＝治水対策案＋利水対策案）

- 治水対策案については、経済性に優れ、効果の発現時期も早く、また、事業化済みであることなどから、ダム案が遊水地案より優位である。
- 利水対策案（＝流水の正常な機能の維持の対策）については、利水照会結果などを踏まえ検討したところ、ダム案以外にないとの概略評価結果となった。総合評価により効果の発現時期や現行法制度下での実現性の点でダム案の妥当性が確認された。
- 以上より、治水対策案、利水対策案（＝流水の正常な機能の維持の対策）両面で、ダム案が最も優位である。

総合評価 (治水対策案、利水対策案の組合せ)	「コスト」(残事業費) (*)			一定期間内に「効果」を発現するか		時間的な観点から見た「実現性」	総合評価
	イニシャル コスト	ランニング コスト	小計	合計	工期：河川整備計 画の目標H60年度		
治水対策案	115億円	25億円	140億円		～H40年度	河川整備計画の目標(1/50確率)を達成する。	ダム案が経済性に最も優れ、治水安全度が早期に発現する。また、ダム事業が現段階において事業化されており、河川整備計画の再検討が不要なことなど、他の対策と比較し最も優位であり、更に、流水の正常な機能の維持に対応できる唯一の整備方法である。
利水対策案	28億円	10億円	38億円	約160億円 178億円	～H32年度	河川整備計画の目標(1/10確率)を達成する。	

\* 川内沢ダム事業を含む、川内沢川全体の改修事業費のうち、今後、必要となる事業費。